

2020年9月17日  
朝日放送テレビ株式会社

「M-1 アナザーストーリー」「笑顔の村」  
「震災アーカイブプロジェクト」  
2020年日本民間放送連盟賞 3作 同時受賞！

朝日放送テレビ制作の番組「M-1アナザーストーリー ～漫才人生、果てなき道～」(2020年1月11日放送)と「笑顔の村」(2019年11月15日放送)が、2020年日本民間放送連盟賞番組部門の<テレビエンターテインメント番組><テレビ報道番組>でそれぞれ優秀賞を受賞しました。

またWEBサイトプロジェクト「震災アーカイブプロジェクト」が、特別表彰部門の<放送と公共性>で優秀賞を受賞しました。

朝日放送テレビとしては、2012年に番組部門の<テレビ報道番組>で優秀賞を受賞した「復興の狭間で～神戸 まちづくりの教訓～」と、特別表彰部門の<放送と公共性>で優秀賞を受賞した『古文書が語る巨大津波』シリーズと一連の報道活動』以来、8年ぶりの受賞となります。

日本民間放送連盟賞は、[質の高い番組制作の促進][放送による社会貢献活動]等の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟が1953年に創設した賞です。

番組部門<テレビエンターテインメント番組> 優秀賞

「M-1アナザーストーリー ～漫才人生、果てなき道～」

2020年1月11日(土)23:15～24:05 放送

【内容】

史上最多5040組がエントリーしたM-1グランプリ2019の決勝戦は“史上最高レベル”と評される激闘となった。観客席を爆笑に包み審査員をうならせたのは、令和最初の王者となったミルクボーイだけではない。

芸人人生を懸けた漫才師たちが、“あの日”をいかにして迎えたのか？そして舞台裏では何が起きていたのか？

僅か4分間の漫才に夢をかけた“芸人達の生き様”を、密着カメラと膨大なライブラリー映像で描いた「M-1ドキュメンタリー」。

【スタッフ】

プロデューサー … 田中和也、葉山哲治、北村誠之、白石和也、亀井俊徳

チーフディレクター・演出 … 下山航平

ディレクター … 坪内大輔、小南彰、石田琢真、辻知奈美 ほか



番組部門<テレビ報道番組> 優秀賞

「笑顔の村」

2019年11月15日(金)26:35~27:45 放送



【内容】

和歌山県の山間部に奇妙な村がある。日本各地の田舎で過疎化が叫ばれている昨今、この村は住民の半分以上が村外からやってきた移住者なのだ。一体この村の何に惹きつけられ、毎年多くの人  
が移住してくるのだろう。謎を探るべく何度も現地に足を運んでいた取材班が目当たりにしたのは、  
村が辿ってきた40年以上に及ぶ歴史とそこで培われた叡智だった。

なんとこの村には、古くから暮らす住民と移住者に衝突の過去があったのだ。そこで生まれたある方  
策こそが、この奇跡の村の根源になっているという。

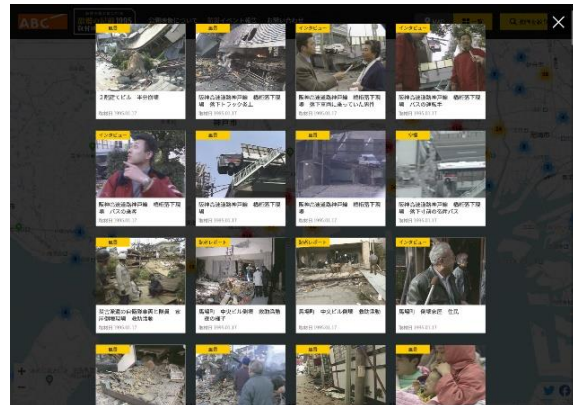
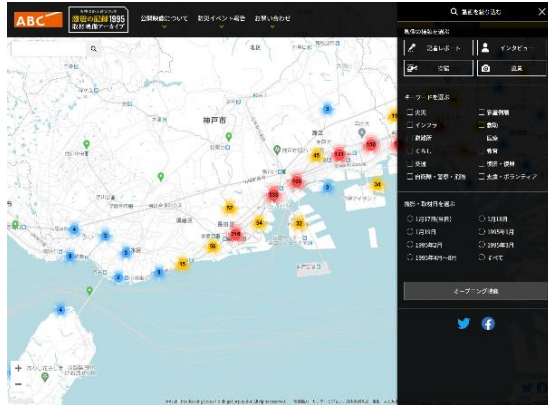
時代が動く中で人にとって大切なものは何なのか。現代社会の抱える問題を、住民たちの笑い声が  
絶えない「笑顔の村」を通して投げかける。

【スタッフ】

プロデューサー …藤田貴久

撮影・ディレクター…西一樹、田村信大





### 【内容】

阪神淡路大震災は、発生直後からテレビがつぶさに記録した都市型震災。しかし四半世紀が経ち、被災経験や教訓の風化が急速に進んでいる。

そこで朝日放送グループでは、未来の「防災・減災」に活かしてもらおうと、撮影した映像アーカイブをWEBサイトで公開するプロジェクトを立ち上げた。しかしそこには、被災者の顔などの映像をモザイクなしで公開していいのかという壁があった。「災害・被災」をよりリアルに伝えるため、この問題について震災経験のない世代に意見調査を実施し、肖像権等に詳しい有識者とともに研究会を開催。その結果、原則モザイクなしでの公開に踏み切った。

阪神淡路大震災の記録映像を、放送局としてかつてない規模で公開したプロジェクトとなった。

### 【スタッフ】

阪神淡路大震災アーカイブプロジェクト

プロジェクトメンバー … 高谷充重、木戸崇之